

情報リテラシー

責任者・コーディネーター	情報科学科医用工学分野 高橋 史朗 教授		
担当講座・学科(分野)	情報科学科医用工学分野		
担当教員	高橋 史朗 教授、小野 保 講師		
対象学年	1	区分・時間数	講義 21 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

“読み書き算盤”という学びの基本を示した古くからの言葉があるが、その本質は色褪せることがない。複雑な現代社会の中で病める人々と向き合わなくてはならないこれからの医療人にはさらに“聴く・話す”能力も求められる。コンピュータと関連機器は、これらの学びの基本の習得および実践活用を強力にアシストする現代の神器である。しかし、ボタンを1個押せばあとは御任せというわけにはいかない。本科目は、習得訓練によってコンピュータと関連機器を勉強・研究生生活の強力無比なアシスタントとして、倫理観をもって操る能力を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

情報機器、アプリケーションソフトウェア、ネット等を道具として実践的に利用しながら、より実社会、専門領域等につながる ICT 活用の基礎知識・基本概念を修得することによって、ICT 活用の基礎理解を深め、情報リテラシー能力を高める。このことにより、実社会や専門領域等で出会う、種々の情報関連課題に対して、ICT を用いて情報収集・分析し、適正に判断し、モラルに則って、迅速に効果的に対処する能力を会得することができる。

また、情報ネットワーク社会の構成員としての自覚と責任を十分に理解することで、LAN やインターネットをコミュニケーションツールとして利用する際、情報ネットワークの倫理規範等に従って安全に情報を活用することができる。（ディプロマ・ポリシー：8）

・到達目標（SBO）

1. コンピュータの基本操作を円滑に行える。
2. オフィス関連ソフトを利用できる。
3. コンピュータのハードウェア・ソフトウェアの基本構成とインターネットの仕組みを説明できる。
4. 情報セキュリティー・情報倫理について理解を深め、快適、安全に情報を活用できる。

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
6/9	火	3,4	医用工学分野	高橋 史朗 教授 小野 保 講師	<p>コンピュータの基礎と情報の編集・文章化(1)：講義・実習</p> <p>1.ハード/ソフトウェアの構成と役割について説明でき、PCの基本操作ができる。</p> <p>2.ビジネス文書を作成・保存することができる。</p> <p>A-2-2)③, A-8-1)③</p> <p>事前学習：WebClass から講義資料をダウンロードし通読する。</p> <p>事後学習：配布されたサンプルと同様のワープロ文書を作成する。</p>
6/16	火	3,4	医用工学分野	高橋 史朗 教授 小野 保 講師	<p>情報の収集・共有・セキュリティー：講義・実習</p> <p>1.インターネットの概要を説明できる。</p> <p>2.インターネットに接続し、Webサイトを閲覧でき、検索エンジンを利用して安全に情報を収集できる。</p> <p>3.情報セキュリティーを概説することができる。パスワード、暗号化などの対処法を理解して利用できる。</p> <p>A-1-1)⑤, A-2-2)①, A-8-1)③, B-4-3)①</p> <p>事前学習：WebClass から講義資料をダウンロードし通読する。</p> <p>事後学習：サイバー犯罪などに関する事例を調査し、自分の考えをまとめたワープロ文書を作成する。</p>
6/23	火	3,4	医用工学分野	高橋 史朗 教授 小野 保 講師	<p>情報の要約・分析(1)と文章化(2)：講義・実習</p> <p>1.関数を用いて簡単な計算表を作成することができる。データを視覚化することができる。</p> <p>2.複合文章を作成することができる。</p> <p>A-2-2)①②, A-8-1)③</p> <p>事前学習：WebClass から講義資料をダウンロードし通読する。</p> <p>事後学習：配布されたサンプルと同様のワープロ文書を作成する。</p>

6/30	火	3,4	医用工学分野	高橋 史朗 教授 小野 保 講師	<p>情報の要約・分析(2)と提示・発信(1) : 講義・実習</p> <p>1. 関数を用いて簡単なデータ解析を実施できる。</p> <p>2. 発表用スライドを作成できる。 A-2-2)①②③, A-8-1)③</p> <p>事前学習：WebClass から講義資料をダウンロードし通読する。</p> <p>事後学習：自己紹介用スライドを作成し、時間内に発表できるように練習する。</p>
7/7	火	3,4	医用工学分野	高橋 史朗 教授 小野 保 講師	<p>情報の提示・発信(2)と情報倫理 : 講義・実習</p> <p>1. SNS などのネットサービスの仕組みを理解し、安全に利用できる。</p> <p>2. 法律や倫理などを理解して、情報発信ができる。 A-1-1)⑤, B-4-3)①</p> <p>事前学習：WebClass から講義資料をダウンロードし通読する。</p> <p>事後学習：情報セキュリティー・情報倫理についてまとめたポスターを作成する。</p>
7/14	火	3,4	医用工学分野	高橋 史朗 教授 小野 保 講師	<p>情報社会・医療現場における情報化 : 講義・実習</p> <p>1. 医療情報システムの概略を説明できる。</p> <p>2. 医療情報システムなどのビッグデータの利活用の動向について理解する。 A-9-1)②③④, B-4-3)①</p> <p>事前学習：WebClass から講義資料をダウンロードし通読する。</p> <p>事後学習：先回のポスターに医療に関わる情報倫理についても加筆すること。</p>
7/21	火	3,4	医用工学分野	高橋 史朗 教授 小野 保 講師	<p>総合演習 : 実習</p> <p>1. 先に作成したスライド・ポスターなどを発表する。</p> <p>事前学習：発表時間内に十分な主張ができるように、スライドを精査し、発表練習をする。</p> <p>事後学習：グループ内の学生の意見も踏まえて医療人としての情報倫理に関してまとめること。</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	キーワードで学ぶ最新情報 トピックス 2019	久野 靖 他監修	日経 BP 社	2019
参	医療情報 第 5 版 医療情報 システム編	一般社団法人日本医療情 報学会医療情報技術育成 部会	篠原出版	2016
参	改定新版 よくわかる情報 リテラシー	岡本 敏雄 監修	技術評論社	2017
参	学生のための情報リテラシー	若山 芳三郎	東京電機大学出版局	2014
参	パワポで極める常勝プレゼン	住中 光夫	アスキー・メディア ワークス	2011
参	HTML5&CSS3 辞典 第 2 版	アंक	翔泳社	2013

・成績評価方法

課題提出を含めた積極的な授業への取り組みを 30%、課題内容を 70%として総合的に評価する。課題への取り組みやプレゼンテーションの評価には、学生相互の他者評価も利用する。

・特記事項・その他

- 1.各自が所有するノートPC(最新セキュリティ対策済)を持参すること。原則として Windows PC を対象として授業を行うため、Mac 使用の者は事前の申し出により授業時間のみ大学所有の Windows PC を借用することができる。
2. グループに分かれてプレゼンテーションを実施する機会を設ける。
- 2.各回の事前・事後学習には合わせて最低 1 時間 30 分を要する。
- 3.作成した課題は期限までに WebClass へアップロードすること。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート PC(MS Windows)	1	担当教員資料作成、講義プレゼン
講義	ノート PC(MS Windows)	2	実験実習補助者資料作成、講義補助
講義	教室付属 AV システム一式	1	資料提示、講義プレゼン
講義	教室付属プリンタ	2	課題作成